

政 第 1214 号

昭和 平成 2 年 4 月 2 日

外務大臣 殿

在大韓民国

柳 大 使



件名

在韓被爆者内題 (韓赤実績通報)

引用公・電何
下付・番号

4月19日、大韓赤十字社より、第11月の支援金(¥42
00万)の資金使用に因るガイドライン5. に付う診療事
業実績通報(89.12.1~90.3.31)を提出趣いたる。
別添送付申し上げます。

(3)

(昭和二十一年六月一日)

 本件送付先：
 本館等送付先：
 省内配布希望先：

174

 付属添付 ☒
 付属三刷(年) ☐
 付属三刷(DP) ☐

CA-3-1

在外公館



受信 駐大韓民國 日本國 柳 健一 大使 貴下

題目 日本國政府 支援 原爆被害者 診療事業 實績 通報

在韓 原爆被害者를 爲한 貴國 政府의 1989. 11. 29字 支援金 ₩4,200萬 (₩195,640,032)의 資金使用에 關한 Guideline에 따라 1989. 12. 1 부터 1990. 3. 31 까지 當社가 實施한 原爆被害者 診療 및 健康診斷事業 實績과 支援金 精算內容을 다음과 같이 通報합니다.

1. 診療支援期間 : 1989. 12. 1 - 1990. 3. 31 (4個月間)

2. 執行(精算)內譯 :

區 分	日本 政府 支援 金額	執行 (精算) 內譯		殘額 (移越額)
		診療支援人員數	支 援 金 額	
診 療 費 支 援	₩195,640,032	1,364名	₩35,420,829	₩157,336,203
健康診斷費 支援	₩(42,000,000)	257名	₩ 2,883,000	
計	₩195,640,032 ₩(42,000,000)	1,621名	₩38,303,829	₩157,336,203

3. 原爆被害者 診療費 및 健康診斷費 執行明細書

(1989. 12. 1 - 1990. 3. 31)

日 字	區 分	計		診 療		健 康 診 斷	
		人員(名)	金 額(₩)	人員	金 額	人員	金 額
1989. 12. 22		346	9,356,509	346	9,356,509		
1990. 1. 8		155	5,435,100	155	5,435,100		
2. 24		740	12,679,450	483	9,796,450	257	2,883,000
3. 7		380	10,832,770	380	10,832,770		
計		1,621	38,303,829	1,364	35,420,829	257	2,883,000

大 韓 赤 十 字 社

總 裁 金 相

